

お客様へ

この度は、タキズミ照明器具をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
「取扱説明書」をよくご覧のうえ、正しく安全にご使用ください。
ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
保証書はお買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに
大切に保管してください。

工事店様へ

この説明書は工事終了後、この器具をご使用になるお客様にお渡しください。

品番 **GVMR80181**

【安全上のご注意】必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

◆誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を
区分して、説明しています。

◆お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある
内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が
発生するおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

警告

■取付面

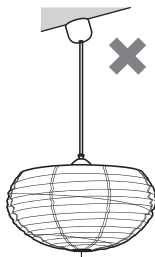
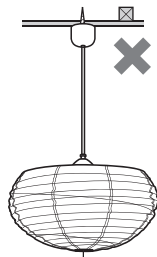
- 次のような場所には取り付けないでください。
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

補強のない場所
(ベニヤ板や石こう
ボードなど)

傾斜した場所



禁止



◎この器具は水平天井面吊り下げ専用です。

■配線器具

- 次のような配線器具（ローゼット・引掛シー
リング）には取り付けないでください。
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。



禁止



ガタつきがあるもの
破損しているもの



電源端子
露出しているもの



斜めに

取り付けられたもの

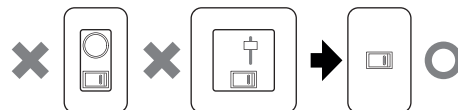
◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
(工事には資格が必要です。)

■壁スイッチ

- 調光機能が付いた壁スイッチの場合は、
一般の入切用スイッチに交換してください。
火災のおそれがあります。



必ず守る



◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
(工事には資格が必要です。)

■その他



禁止

- スイッチ引きひもなどに無理な力を
かけないでください。
落下によるけがのおそれがあります。
- ◎スイッチ引きひもにぶらさがったりしないで
ください。



必ず守る

- 交流100ボルトで使用してください。
過電圧を加えると過熱し、火災・感電の
おそれがあります。
- 異常を感じた場合、速やかに電源を
切ってください。
異常状態が収まったことを確認し、
お客様相談室にご相談ください。



分解禁止

- 器具を改造したり、部品交換をしないで
ください。
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

注意

- 照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。

点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。

- ◎1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。(弊社ホームページより書式をダウンロードしてご使用ください)
<https://www.takizumi-denki.com/publics/index/208/>



必ず守る

- この製品は5℃～35℃の範囲内で使用してください。

火災、感電の原因となることがあります。

- 付属の梱包材は取り除いて使用してください。

そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

- 取り付け・取りはずし時などは足場を確保し、安全に作業できるように注意してください。

転倒・落下してケガをするおそれがあります。



必ず守る

- セードなどが破損した場合、けがの原因になることがありますので、破損部分に直接手や肌などを触れないでください。

◎破損した状態のまま使用すると感電、けがの原因になることがあります。

販売店に点検、部品の交換、修理を依頼してください。



接触禁止

- 点灯中や消灯直後は本体やその周辺にさわらないでください。

やけどの原因となることがあります。

- ◎お手入れは電源を切り、本体やその周辺が冷めてから行ってください。



水ぬれ禁止

- 浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しないでください。

火災、感電の原因となることがあります。

- ◎この器具は防湿、防雨型ではありません。



禁止

- 温度が高くなるものを器具の真下に置かないでください。

火災の原因となることがあります。

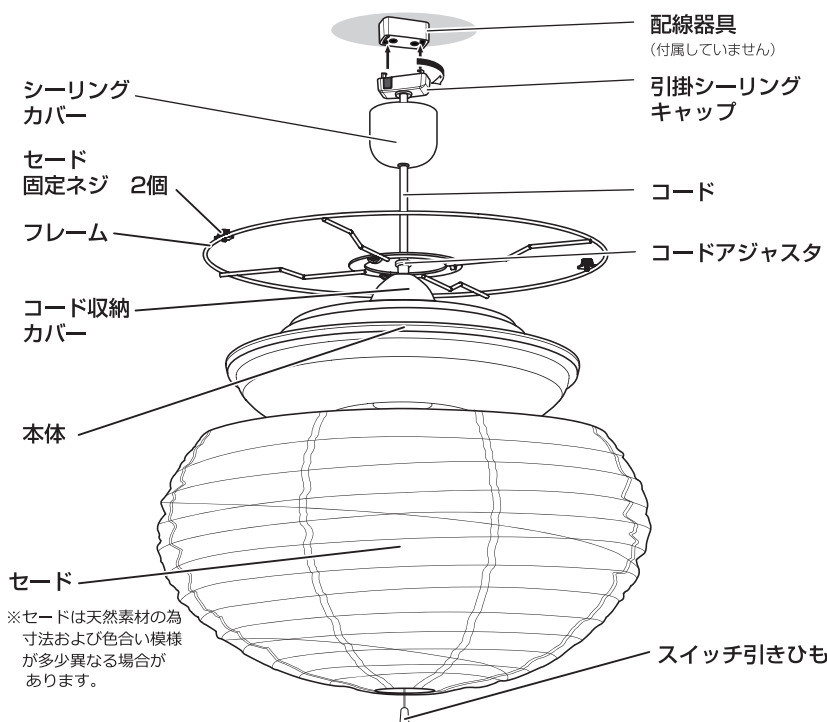
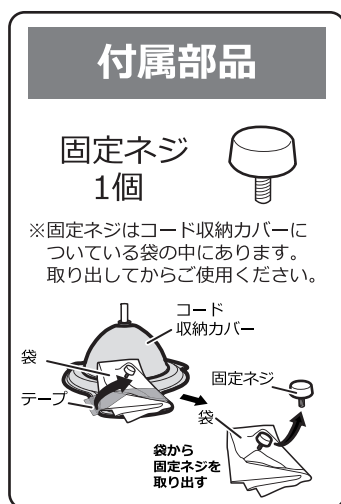
- ◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。

- LEDを直視しないでください。

目の痛みの原因となることがあります。

各部のなまえと付属部品

取付ける前にまず付属部品をご確認ください



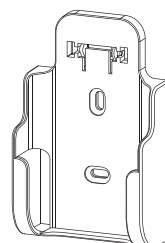
リモコン付属部品

リモコン
補修品番：TLR-004



※リモコン前面の保護シートは取りはずしてからご使用ください。

リモコン
ケース



木ネジ
2個



単4形
乾電池
2個



●リモコンに付属の電池は動作確認用ですので、電池寿命が短い場合があります。

照明器具を取り付ける

安全のため、必ず電源を切ってから行ってください。

- 1** 天井についている配線器具を確認する。 ※壁スイッチと併用をおすすめします。

天井に下図のような配線器具が付いている場合、取り付けできます。



下記以外の配線器具の場合、配線器具が設置されていない場合、取り付けできません。

◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
(工事には資格が必要です。)



角型引掛シーリング



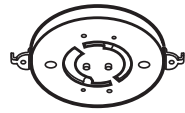
丸型引掛シーリング



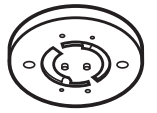
丸型フル引掛シーリング



フル引掛ローゼット



引掛埋込ローゼット
(ハンガー付)



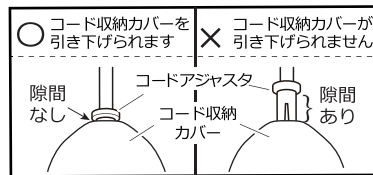
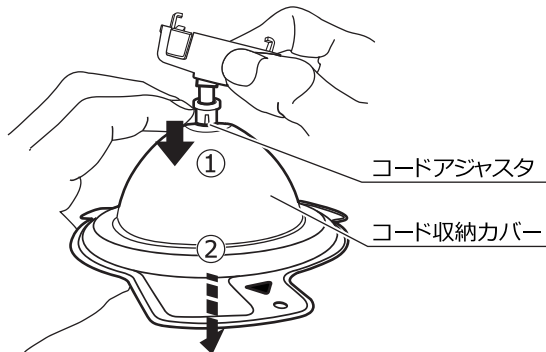
引掛埋込ローゼット
(ハンガーなし)

2 コード収納カバーを引き下げる

- ① コードアジャスタを押しこむ (下図○の状態)

- ② コードアジャスタを押し込んだまま
コード収納カバーを引き下げる

※コードアジャスタが引きあがらないように行ってください。
下図×の状態になりますとコードが固定され、引き下げができなくなります



<動画でも確認いただけます>

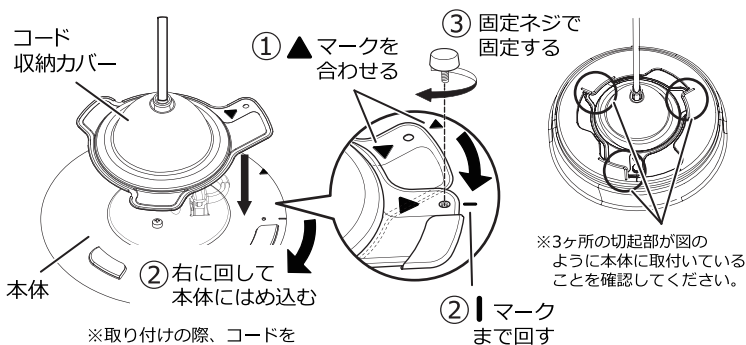


<https://www.takizumi-denki.com/publics/index/209/>

上記のQR または 弊社ホームページの
製品情報>お客様サポート>よくあるご質問
をご覧ください。

3 コード収納カバーを本体に取付ける。

- ① コード収納カバーと本体の ▲ マークを合わせる。
② 右に回して本体にはめ込み、 | マークまでまわす。
③ 付属の固定ネジで固定する。



※取り付けの際、コードをはさまないでください。

※3ヶ所の切起部が図のように本体に取付いていることを確認してください。

確認

取付け後、コード収納カバーを左に回して、外れないことを確認する。

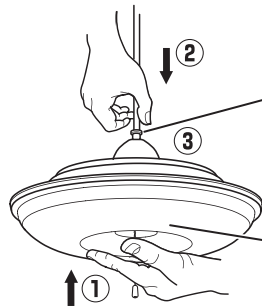
器具の高さを調節する場合は、
コードの長さを調節してください

手順 **4** 参照

4 コードの長さを調節する。

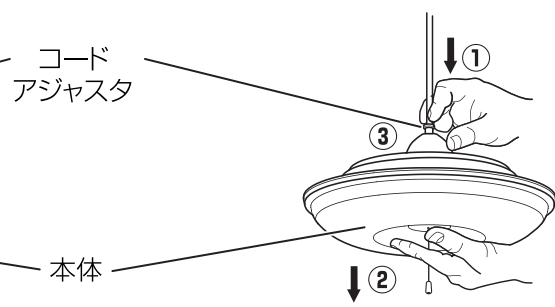
【短くする場合】

- ① 本体を持ち上げながら
- ② 本体内にコードを押し込む。
- ③ 調節後、コードアジャスタを引き上げてコードを固定する。



【長くする場合】

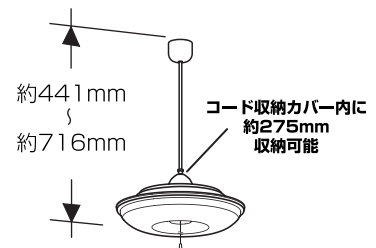
- ① コードアジャスタを押さえながら
- ② 本体を引き下げる。
- ③ 調節後、コードアジャスタを引き上げてコードを固定する。



⚠ 注意

- 必ず、セードを取付ける前にコードの長さを調節する。**
セードを取付けたあとにコードの長さを調節することはできません。

コード調節可能範囲



寸法の表記はセードの高さを含みます。

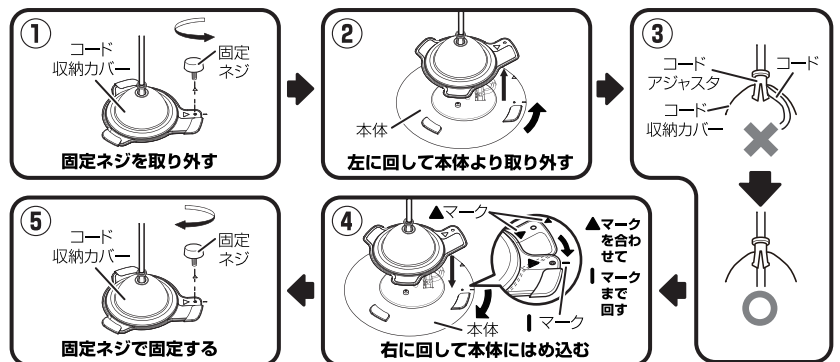
【コード収納カバーから引き出せない場合】

コードの調節ができない場合は、以下の手順でコードの引っ掛かりを直してください。

照明器具を取り外す

- ① 固定ネジを取り外す。
- ② コード収納カバーを左に回して本体より取り外す。
- ③ コードがコードアジャスタ中央にくるように直す。
- ④ コード収納カバーと本体の ▲ マークを合わせて ▼ マークまで右に回し本体にはめ込む。
- ⑤ 固定ネジで固定する。※取り付けの際、コードをはずさないでください。

照明器具を取り付ける

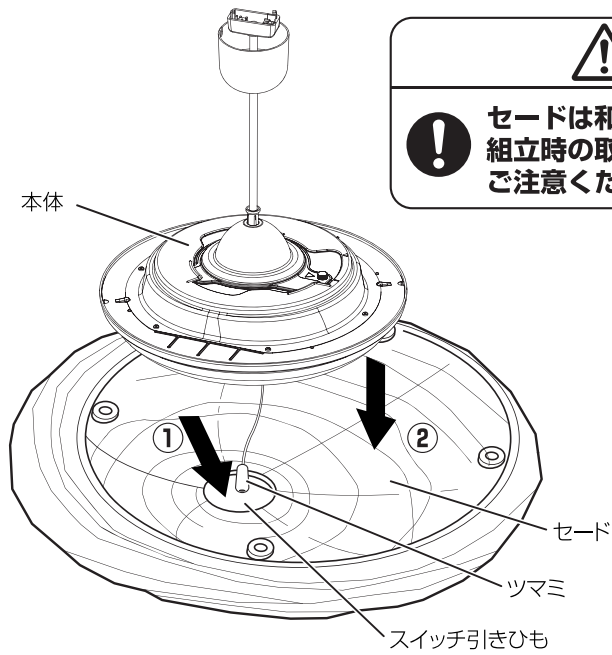


照明器具の取り付け、取り外しについては【照明器具を取り付ける】を参考に行ってください。

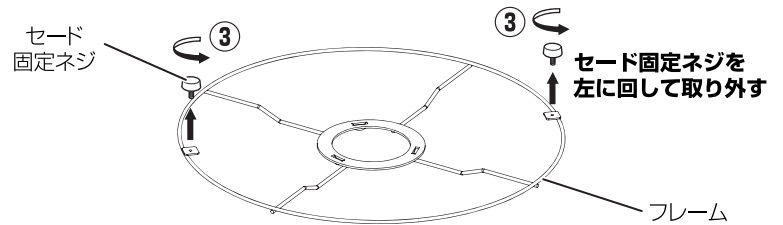
5 セードを取り付ける。

- ① スイッチ引きひもをセード下面穴に合わせる。
- ② セードの上に本体をのせる。

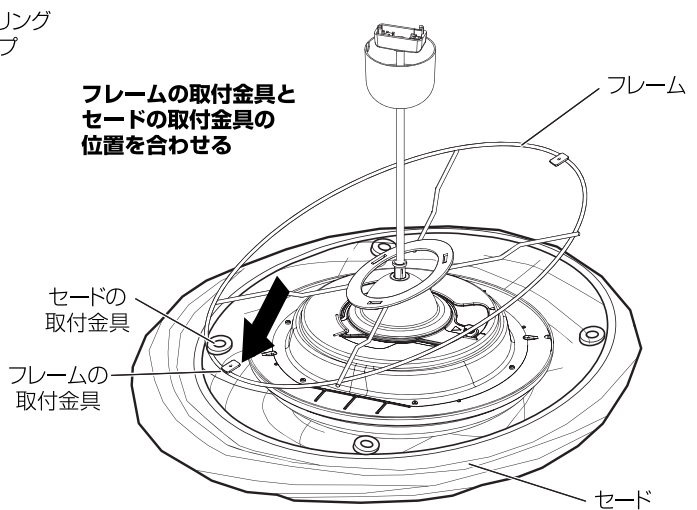
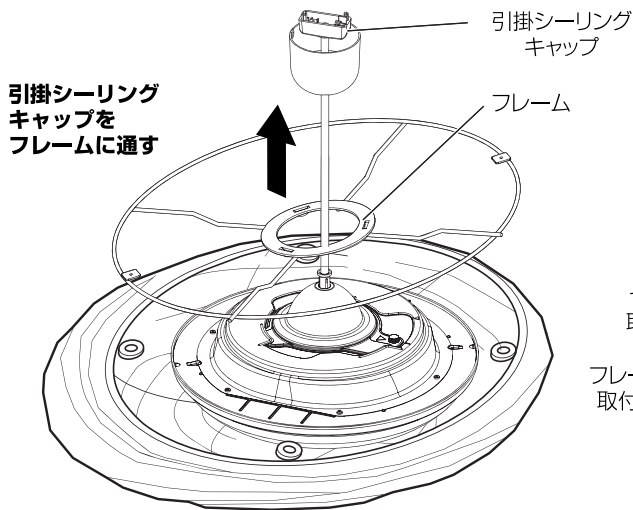
⚠ 注意
! セードは和紙でできております。組立時の取扱いは充分にご注意ください。



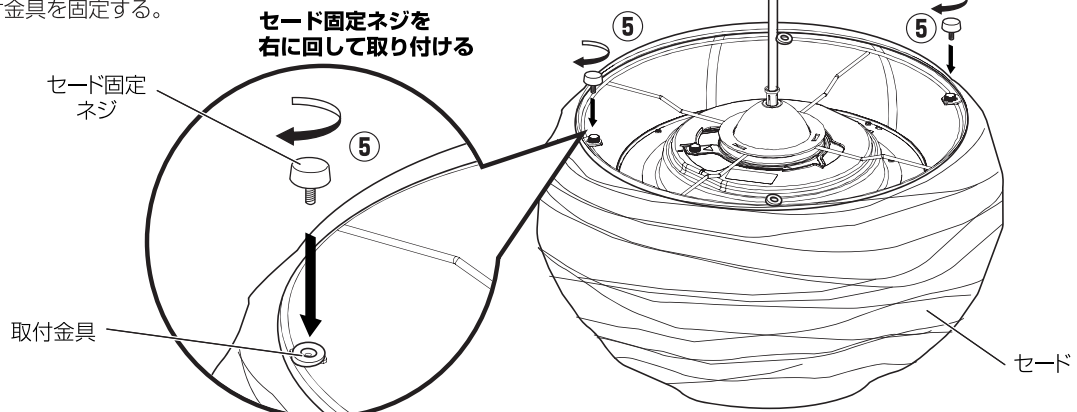
- ③ セード固定ネジ2個をフレームから取り外す。



- ④ 図のようにフレームをセットする。

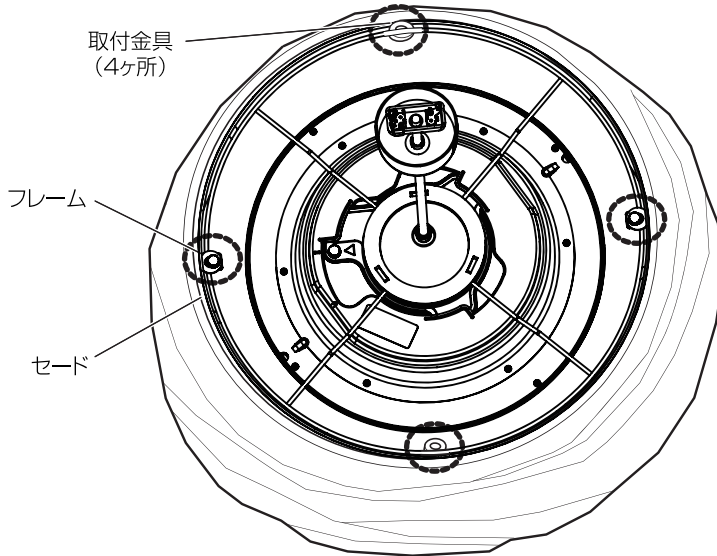


- ⑤ セード固定ネジで取付金具を固定する。

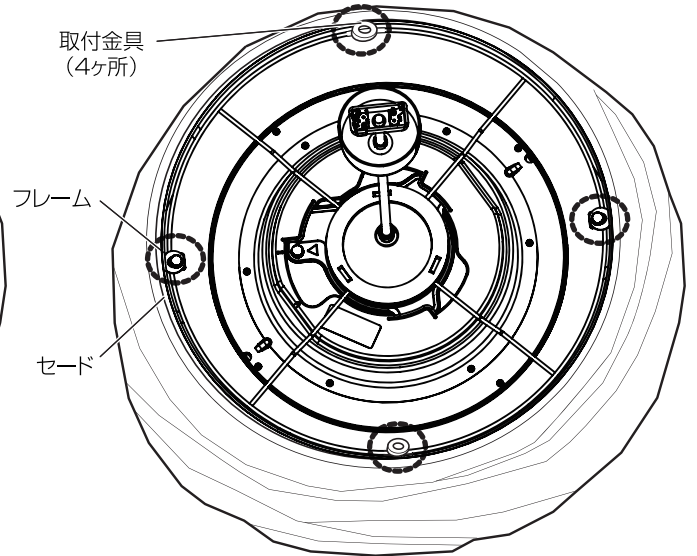


6 フレームとセードが正しく取付けられているか確認する。

✕ フレームの上に取付金具
(4ヶ所) が見えない状態



○ フレームの上に取付金具
(4ヶ所) が見える状態

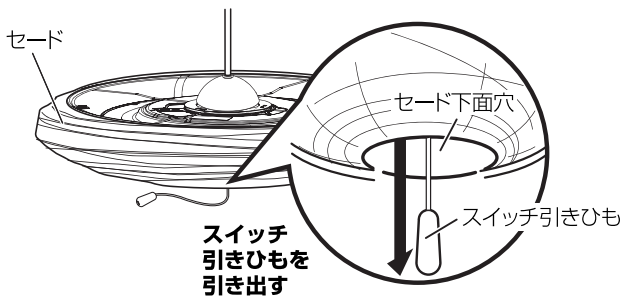


確認

4ヶ所の取付金具が ○ のような状態になっていることを確認する。
✕ の場合、正しく取付けされていないので手順 4 から再度行なってください。

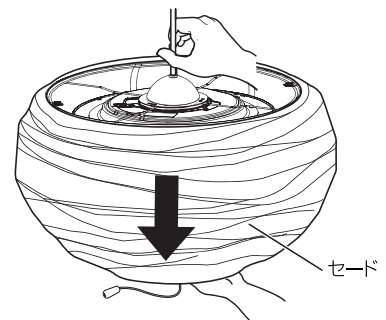
7 スイッチ引きひもをセードから引き出す。

図のようにスイッチ引きひもをセード下面穴から引き出してください。

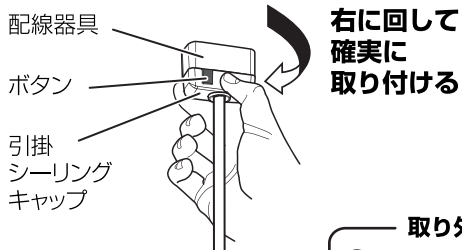


8 セードをのぼす。

セードを破らないように気を付けながらのぼしてください。

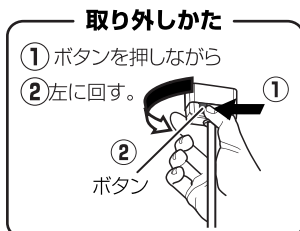


9 配線器具に引掛シーリングキャップを接続する。

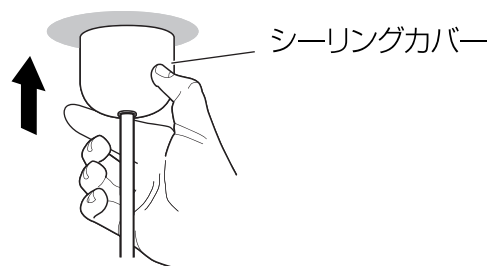


確認

取付け後、ボタンを押さずに左に回して外れないことを確認する。

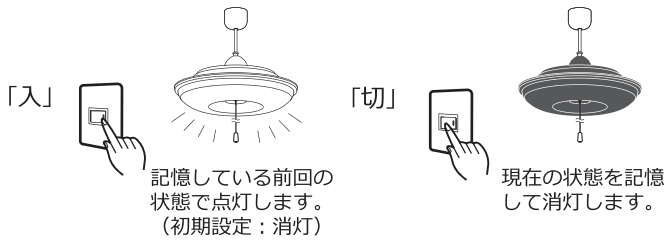


10 シーリングカバーを天井面に押し上げる。



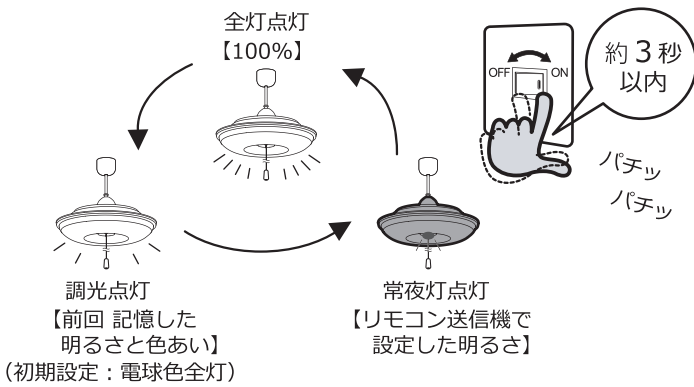
① 壁スイッチで操作する

点灯・消灯する



- 壁スイッチをONにしても点灯しない場合は、壁スイッチを約3秒以内にOFF⇔ONと切り替えるか、リモコンで点灯状態を切り替えてください。
- 消灯状態で「切」にすると次に「入」にしたときも消灯状態になります。

点灯状態を切り替える



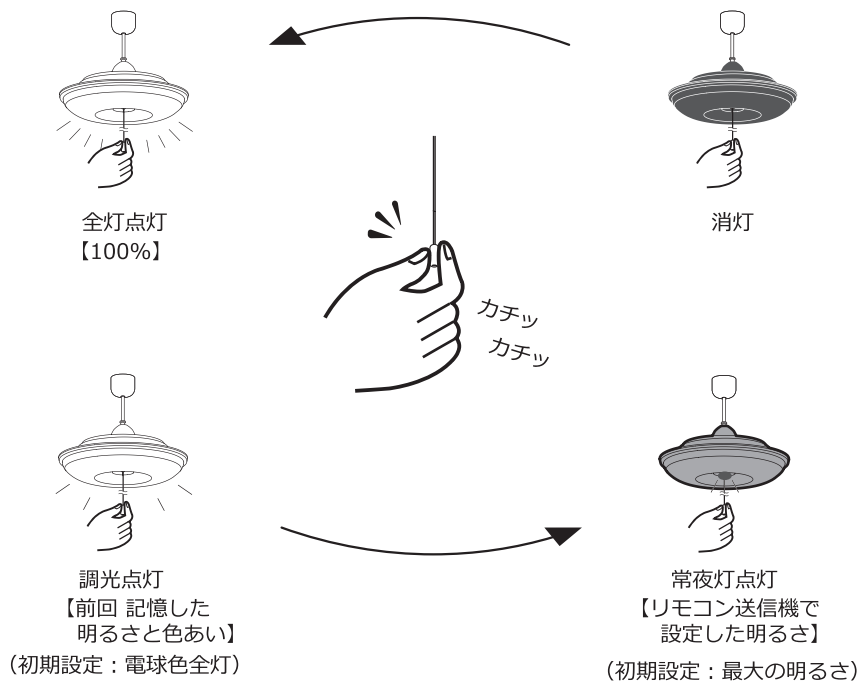
壁スイッチを素早く(約3秒以内に)OFF⇔ONと切り替えると図の順に点灯状態が切替ります。

- 壁スイッチ1個で2台以上の照明器具を使用しないでください。点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。

② スイッチ引きひもで操作する

点灯状態を切り替える

スイッチ引きひもを引くたびに図の点灯状態に切り替わります。

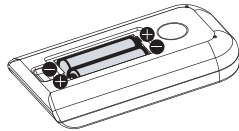
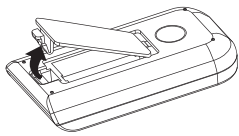


※壁スイッチ、スイッチ引き紐で操作したときの調光点灯は、リモコンのメモリー点灯ボタンで記憶させた点灯状態(8ページ)とは異なる場合があります。

リモコンで照明器具を操作する 壁スイッチは「入」の状態にしてください。

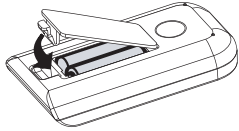
乾電池の入れかた

- 裏側のカバーをはずす。
レバーの▲の方向に押し引き上げる
- 電池の⊕⊖を正しく入れる。



電池は⊖側接点をリモコンのパネに正しく押し当てながら装填してください。

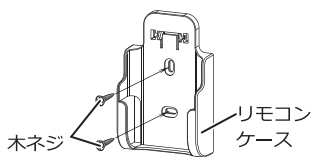
- カバーを取り付ける。



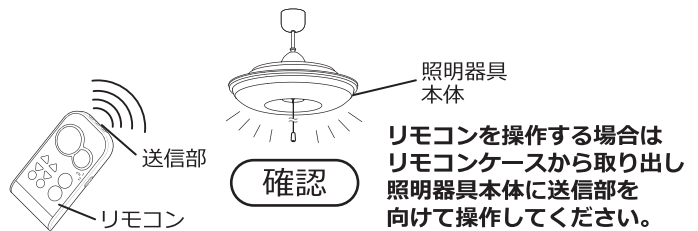
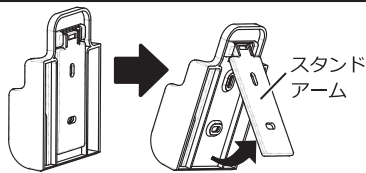
- 使用する電池や条件により半年未満で消耗することがあります。
- リモコンに付属の電池は動作確認用ですので、電池寿命が短くなる場合があります。
- 電池を入れるとき、電池に傷を付けたり、カバーを破らないようにしてください。発熱、破裂、発煙、発火の恐れがあります。
- 交換時は、2本とも新しい同じ種類のものを使用してください。
- 長期間使わないときは、電池を取り出してください。(液漏れによる故障防止)

リモコンケースの使いかた

壁などに取付ける場合



テーブルなどに置いて使用する場合



照明器具
本体

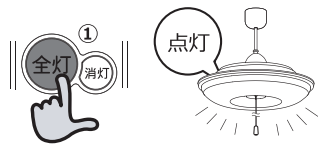
リモコンを操作する場合は
リモコンケースから取り出し
照明器具本体に送信部を
向けて操作してください。

確認

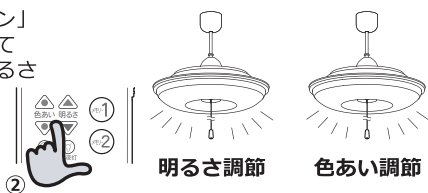
点灯状態を調節し記憶させる

LED点灯中に調光・調色操作を行ない、メモリー点灯ボタンを長押しすることにより、その明るさ、色あいを記憶することができます。

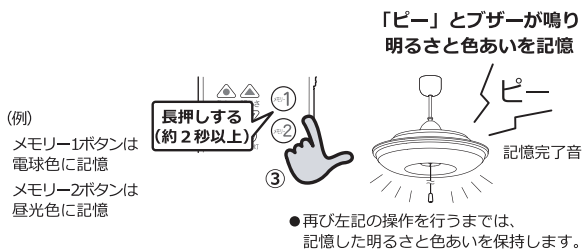
- 照明器具を点灯させる。



- リモコンの「調光ボタン」「調色ボタン」を押しておこのみのLEDの明るさと色あいに調節する。



- リモコンの「メモリー1ボタン」または「メモリー2ボタン」を長押しして明るさと色あいを記憶する。



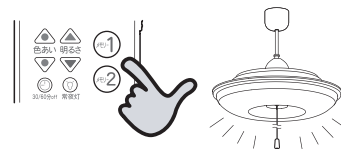
(例)
メモリー1ボタンは
電球色に記憶
メモリー2ボタンは
昼光色に記憶

- 再び左記の操作を行うまでは、記憶した明るさと色あいを保持します。

記憶した明るさ、色あいをワンタッチで点灯させる

記憶した明るさ、色あいをワンタッチで点灯することができ、「お気に入りの点灯状態」としてご利用できます。

リモコンの「メモリー1ボタン」または「メモリー2ボタン」を押してLEDを点灯させる。



- 初期設定はボタン1、ボタン2共に(明るさ: 100% 色あい: 昼白色3600K)の状態に記憶されています。

記憶した
明るさと色あいで
点灯

リモコンで照明器具を操作する 壁スイッチは「入」の状態にしてください。

リモコンのボタンについて

※リモコンなどの付属部品は1年保証です。(乾電池を除く)

全灯ボタン


100%の明るさで点灯します。(昼白色)

- 蓄光ボタンが太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。

調光ボタン

明るさを調節します。

調光範囲：100%～約10%まで

調光ボタン  を同時に長押し(6秒以上)で

操作する照明器具のチャンネルが切り替わります。

⇒10ページの「チャンネルの設定方法」を参照

調色ボタン

色あいを調節します。

調色範囲：昼光色6500K～電球色2200K※まで

offタイマーボタン

offタイマーをセットすると30分後または60分後に自動消灯します。

タイマー設定後、offタイマーボタン以外のボタンを押すと「ピー」とブザー音が鳴り、タイマーは解除されます。必要な場合は、改めてタイマー設定を行ってください。

押すごとに《60分後消灯》⇒《30分後消灯》を繰り返します



消灯ボタン

消灯します。

- この器具は、リモコンで消灯している場合約1W以下の電力を消費しています。長期間ご使用されない場合、壁スイッチをOFFにしておくことをおすすめします。

チャンネル切替スイッチ

操作する照明器具のチャンネルを設定する場合に使用します。

⇒10ページの「2台までのリモコン照明器具を操作する」を参照

メモリー点灯ボタン1

メモリー点灯ボタン2

メモリー設定操作をした「明るさ・色あい」で点灯します。ボタンを長押し(2秒以上)で点灯状態を記憶します。

⇒初期設定は、メモリー点灯ボタン1・メモリー点灯ボタン2

共に【明るさ：100%・色あい：昼白色3600K※】

⇒8ページの「点灯状態を調節し記憶させる」

「記憶した明るさ・色あいをワンタッチで点灯する」を参照

常夜灯ボタン

常夜灯を点灯、ボタンを押すたびに明るさ調節します。調光範囲：明暗上下5段階

⇒初期設定は、最大の明るさ(5段階目)

- 常夜灯は調色できません。

※K(ケルビン)とは、色温度の単位で光の色を数値化したものです。

故障かな?と思ったら

下表に従って点検してください

現象	考えられる原因	参照ページ
点灯しない。	壁スイッチがOFFになっている。	➡ 壁スイッチをONにしてください。 ⇒7ページ...
リモコンで操作できない。	リモコンと器具のチャンネルが合っていない。	➡ リモコンと器具のチャンネルを合わせてください。 ⇒10ページ...
	リモコンの電池が正しく入っていない。	➡ リモコンの電池を正しく入れてください。 ⇒8ページ...
勝手に消灯する。	リモコンの電池が消耗している。	➡ リモコンの電池を交換してください。 ⇒8ページ...
	offタイマー30分/60分がセットされている。	➡ offタイマー30分/60分を解除してください。 ⇒9ページ...
勝手に点灯する。	非常に短い停電などにより壁スイッチ機能がはたらき、点灯状態が切り替わった可能性がある。	➡ 壁スイッチをOFFにしてください。 ⇒7ページ... ➡ リモコンまたは壁スイッチ操作で点灯モードを切り替えてください。 ⇒7ページ...

上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入店、弊社お客様相談室にご相談ください。

リモコンの便利な使いかた

2台までの照明器具を操作する 照明器具のチャンネルを変更できます。

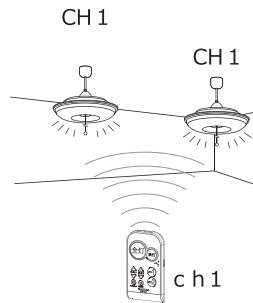
チャンネル設定で できること

リモコンのチャンネルを切り替えると、1台のリモコンで2台の照明器具本体が操作できます。

また、リモコンで操作できない時は、チャンネル設定が合っていない場合があります。

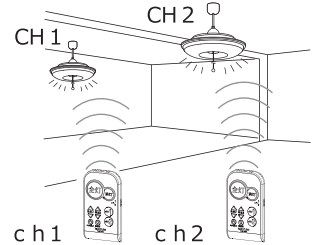
● 2台の器具を同時に 点灯できます。

(例)
1部屋に2台の
リモコン
照明器具が
ある場合



● 2台の器具を別々に切り替えて 操作できます。

(例)
隣室にも
リモコン
照明器具が
ある場合



チャンネルの設定方法

●チャンネルの初期設定は照明器具本体、リモコン共にch1に設定されています。

照明器具本体を **ch2** に設定する場合

①チャンネル設定 **ch2** に設定したい器具のみを壁スイッチONにする

②リモコンのチャンネル切替スイッチを **ch1** の位置にスライドする

③照明器具本体にリモコンを向けながら「調光ボタン」を約6秒以上同時に長押しする

（「ピーピーピ」とブザーが鳴り照明器具本体のチャンネルが **ch1→ch2** へ切り替わります。

④リモコンのチャンネル切替スイッチを **ch2** の位置に切り替えて使用してください

（※照明器具本体のチャンネル設定がch2に切り替わっているため、リモコンのチャンネルを合わせないと操作することができません。

照明器具本体を **ch1** に設定する場合

①チャンネル設定 **ch1** に設定したい器具のみを壁スイッチONにする

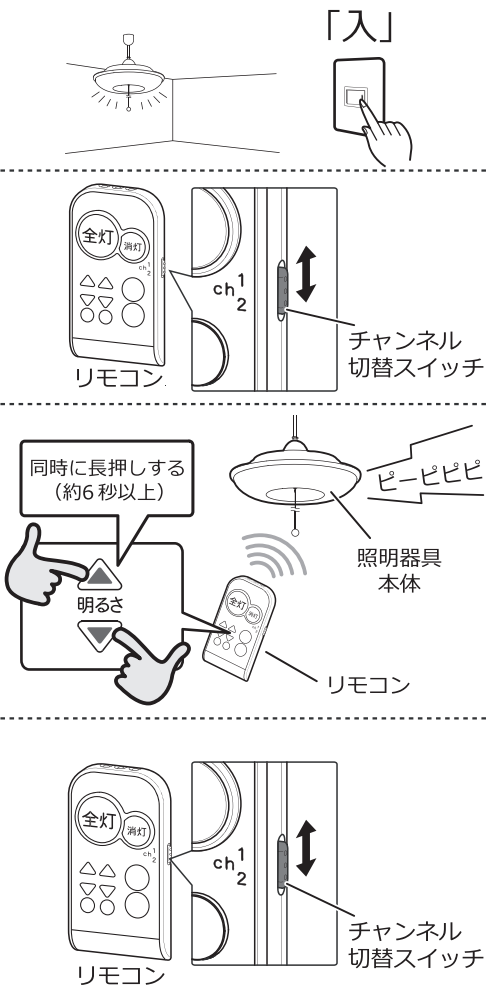
②リモコンのチャンネル切替スイッチを **ch2** の位置にスライドする

③照明器具本体にリモコンを向けながら「調光ボタン」を約6秒以上同時に長押しする

（「ピーピーピ」とブザーが鳴り照明器具本体のチャンネルが **ch2→ch1** へ切り替わります。

④リモコンのチャンネル切替スイッチを **ch1** の位置に切り替えて使用してください

（※照明器具本体のチャンネル設定がch1に切り替わっているため、リモコンのチャンネルを合わせないと操作することができません。



リモコンは、他のタキズミ製リモコン付照明器具に対しても操作できますが、チャンネルの設定の方法はその商品の取扱説明書をご参照ください。また、機種によってはリモコンで操作できる機能が制限される場合があります。

ご使用上に関するお知らせ

【ご使用上の注意点】

- 点灯中や消灯後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
- 木や和紙など素材を使った商品は天然素材の特性上、同一品番でも商品ごとに寸法および色合いの模様が多少異なる場合があります。
- 停電時、停電復帰時などで予期せぬ非常に短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わる場合があります。長時間使わないときは、壁スイッチをOFFしてください。
- 壁スイッチがないと、リモコンの電池が消耗した場合やリモコンを紛失した場合に点灯消灯ができません。
- 壁スイッチがONの場合、消灯時も待機時消費電力を消費しています。
- LED、常夜灯にはパラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- 3Dテレビ用などの特殊なメガネをかけて点灯している照明器具を見た場合、縞模様やちらつきが見える場合があります。
- 3Dテレビ視聴時、リモコンが反応しにくい場合があります。
- 点灯中にビデオカメラを使用すると、ビデオカメラのモニターや録画画像に縞模様が入る場合があります。
- LED光源は、通常のランプのようにお客様自身でのお取り替えはできません。
- 照明器具が点灯しない場合は、電源を切り、ご購入店、弊社お客様相談室にご相談ください。

【周囲の影響】

- 器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像通信機器に雑音が入ることがあります。
- 器具のきわめて近くでは、リモコン機器（エアコンなど）のリモコンが動作しにくくなる場合があります。

お手入れについて

電源を切って、本体やその周辺が冷めてから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1回程度）に下記の手順で清掃してください。

【本体】

汚れは、やわらかい布を石けん水に浸し、よく絞ってから軽く拭き取る。必ず最後にやわらかい布で乾拭きをする。（水洗いはできません）

【カバー（プラスチックのもの）】

汚れは、やわらかい布を石けん水に浸し、よく絞ってから軽く拭き取る。必ず最後にやわらかい布で乾拭きをする。

【カバー（木・竹・和紙など）】

ハタキ・ハケ・やわらかいブラシ等でこまめにホコリを払い落とす。（水洗いはできません）

- 使用する電池や条件により半年未満で消耗することがあります。
- リモコンに付属の電池は動作確認用ですので、電池寿命が短くなる場合があります。交換時は2本とも新しい同じ種類のものを使用してください。長期間使わないときは電池を取り出してください。（液漏れによる故障防止）
- リモコンの送信部は定期的にお手入れを行ってください。ほこりなどにより汚れるとリモコンが効きにくくなります。



確認

シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

仕様

使用電圧	周波数	消費電力	入力電流
AC100V	50/60Hz共用	全灯：40.1W 常夜灯：1.3W 待機時：1W以下	0.41A

- LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。（照明器具の寿命とは異なります）
光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

タクズミ照明器具保証書

※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。

<保証について>

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
- ご転居の場合の修理依頼先は、お買い上げの販売店または、下記「お客様相談室」までご相談ください。
- 二次販売、ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、下記「お客様相談室」までご相談ください。
- 保証期間は製品お買い上げ日から**5年間**です。（本体、LED器具の点灯装置） 但し、付属部品は**1年間**です。
お買い上げ日より5年以内に故障が発生した場合は、保証規定の範囲で無料修理させていただきます。
※24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合は、上記の半分の期間とします。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有料とさせていただきます。
(1)使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障及び損傷
(2)お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障および損傷
(3)ご使用による器具のキズ、汚れ、および自然劣化
(4)各部材の経時変化による外観の劣化やそれに伴う照明機能低下
(5)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷
(6)一般家庭用以外（例えば業務用等や車向、船舶等に搭載）に使用された場合の故障および損傷
(7)施工上の不備に起因する故障や不具合
(8)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わない事による故障および損傷
(9)本書および領収書あるいは販売店様発行の保証書の提示がない場合
(10)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合

<アフターサービスについて>

- 保証期間中に万一故障が起きた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店までお申し出ください。
- 保証期間終了後は、お買い上げの販売店または、下記「お客様相談室」までご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- アフターサービスについてのご不明な点や修理に関するご相談は、下記「お客様相談室」までご相談ください。
- 弊社は照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後最低6年間保有しています。（※セードなどの電気部品以外の部品は含まない）補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。
※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な点はお買い上げの販売店または、下記「お客様相談室」までご相談ください。

品番	GVMR80181	保証期間 (お買い上げ日から)	本体、LED器具の点灯装置	お買い上げ日	年 月 日
			カバー、付属部品など		
お客様	お名前	販売店名・住所・電話番号			
	ご住所 〒	-			
	電話番号 ()	-			

●お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及び、その後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

ご不明な点などは下記までご連絡ください。

瀧住電機工業株式会社

〒546-0035 大阪市東住吉区山坂2-21-16

「お客様相談室」  **0120-226-544**

受付時間/月～金(土、日、祝日、夏季、年末年始休業日を除く) 9:00～17:00

<http://www.takizumi-denki.com/>

リモコン送信機 TLR-004 チャンネル切替操作について

製品により付属のリモコン送信機の種類が異なります。(下写真の2種類)

2種類のリモコン送信機の基本操作は同じですが、チャンネル切替時のみ操作が異なります。

商品に付属のリモコン送信機をご確認のうえ、正しい手順でチャンネル切替操作をおこなってください。

外観での見分け方 と チャンネル切替操作

リモコン送信機の表面下に印刷された弊社ロゴマークをご確認ください。

「あかりのTAKIZUMI」または「TAKIZUMI」のいずれかであることを確認し、それぞれの手順でチャンネル切替操作をおこなってください。

詳しくは商品に付属の取扱説明書をご確認ください。

「あかりのTAKIZUMI」のロゴマークの場合



【チャンネル切替操作】

明るさボタン ▲ (明) ▼ (暗) の両方のボタンを同時に長押し(6秒以上)してチャンネルを切替える。

「TAKIZUMI」のロゴマークの場合



【チャンネル切替操作】

全灯ボタン **全灯** を長押し(3秒以上)してチャンネルを切替える。